

やはば

議会だよ

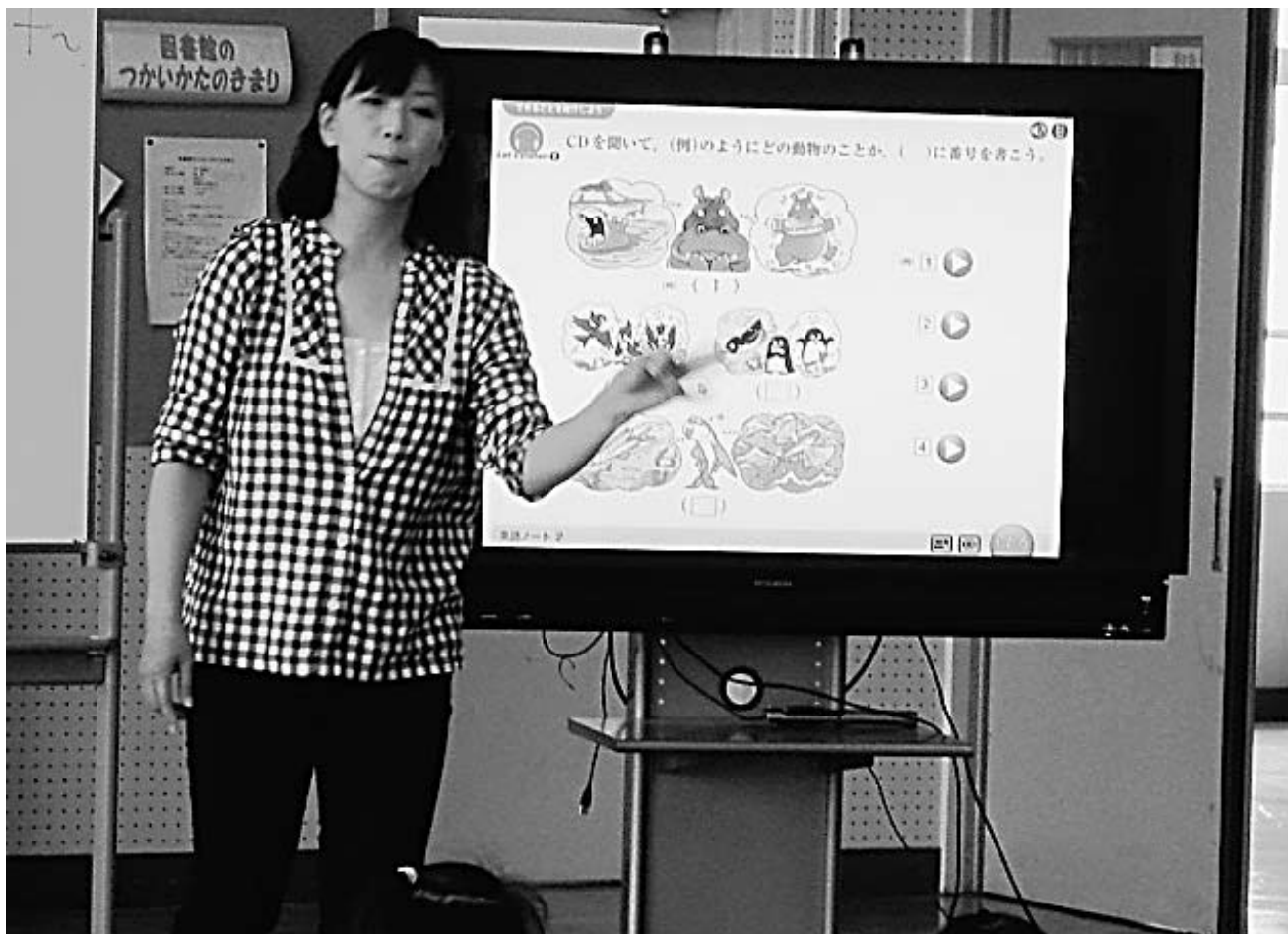
電子黒板等購入に3,020万円 2
第2回臨時会 駅前開発にGOサイン 13
1%を町民提案予算 一般質問5議員 8
決算審査特別委員会 4

174
2010.10.14



一等賞はどっち (徳田保育園)

21年度一般会計決算額は90億6,682万円 電子黒板等購入に3,020万円



電子黒板を使った授業(煙山小学校)

9月定例会は2日から22日までの会期で開催され、第6次総合計画(前期実施計画)の4年目である21年度の決算を中心に、人事案件や条例案等を審議し、全て原案どおり可決しました。

一般会計と特別会計および水道事業会計の決算総額は、歳入158億9958万円で前年度比7144万円(0.4%)の減、歳出は154億2495万円で前年度比1913万円(0.1%)減となっています。

一般質問では5人が登壇し、町民の提案による予算制度および補助金の交付金化制度の創設や、認知症患者の介護についてなど、12項目にわたり考えをいただきました。

また新規事業として、消費者サービスの向上および消費購買刺激による商工業の活性化を図るため矢巾町プレミアム商品券発行に対し497万円を補助しました。

主な新規事業

▽しいたけ生産体制

整備緊急対策事業

2009万円

▽菌床椎茸生産

振興対策事業

1027万円

▽田沢ため池維持

補修事業

446万円

▽西郷地区排水路

改修事業

1506万円

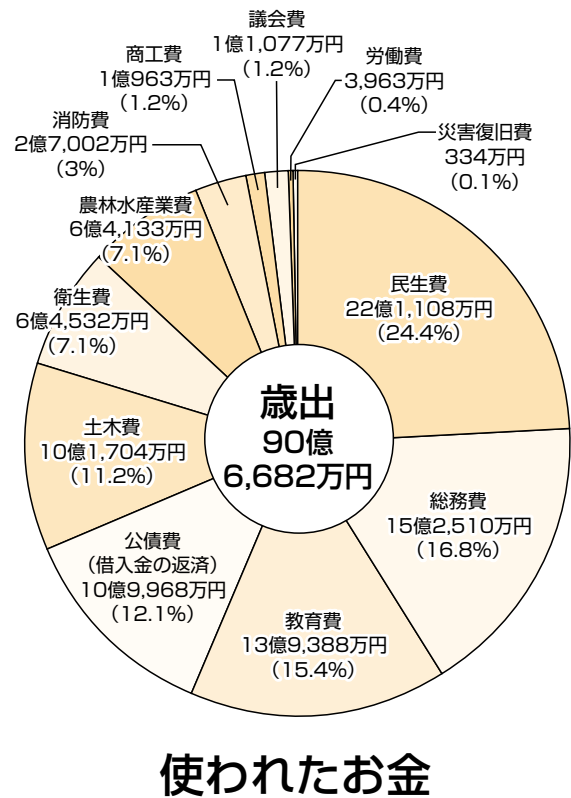
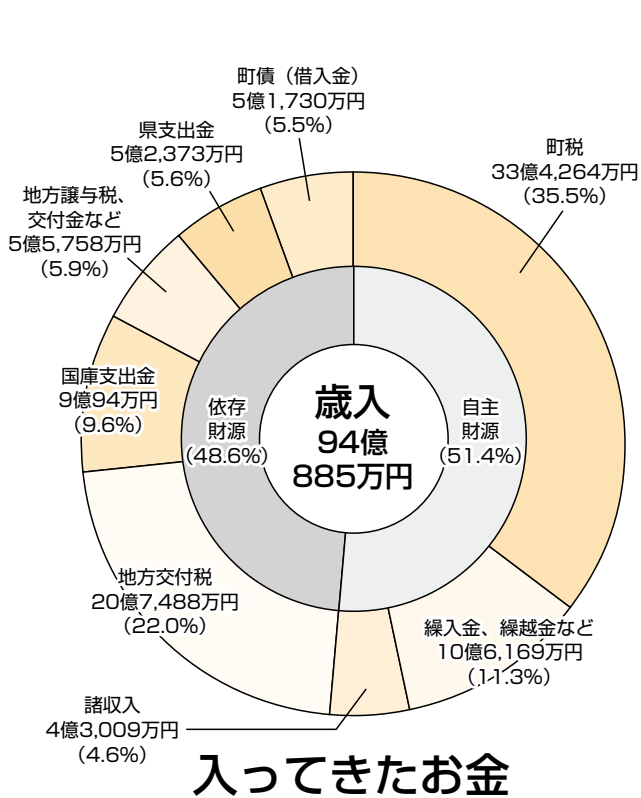
▽観光振興対策事業

152万円

▽住宅耐震改修支援事業

120万円

一般会計決算の内訳



町の主な事業を行う平成21年度一般会計の決算額は、歳入では前年度より2・7%増の94億885万円、歳出では前年度より3・1%増の90億682万円となりました。

一般会計の決算額を前年度と比較すると、歳入は国庫支出金、財産収入および町税等が減少しましたが、繰入金、町債 (借入金) および地方交付税等の増加により、全体では2億4672万円 (2・7%) 増加しています。

歳出は災害復旧費、土木費および農林水産業費等が減少しましたが、教育費、総務費および衛生費等の増加により、全体では2億7532万円 (3・1%) 増加しています。

監査意見

立花 純幸 委員
野田 和夫 委員

当会計年度は第六次総合計画前期基本計画の4年目の決算であります。県内市町村の多くが財政運営に苦慮している中において、本町は財政健全化、経営健全化とも基準を下まわっており、特に実質公債費比率は18・0%となっている。

医大関連、ウエストヒルズ広宮沢、矢巾中学校移転改築、矢幅駅周辺土地区画整理事業等厳しい財政のなかで第六次総合計画4年目の事業費ペースで進捗率は87・2%となっており良好に進んでいます。

今後町行政の執行にあたっては町民サービスは無難のこと、なお一層の努力をされたい。

また水道事業会計においては計画的な漏水調査の結果、有収率は95・8%と高い結果を表している。



決算審査特別委員会

決算審査は、議長を除く 17 人の委員で構成された特別委員会（高橋義忠委員長、川村 他人夫副委員長）を設置して審議しました。

歳入

山崎 実質公債費比率が18%に減少し改善された要因と、今後の見通しを示せ。

企画財政課長 煙山苗畑用地購入分を繰り上げ償還したことによる。

今後は平成24年度までは下がる見込みであるが、新たな事業による起債が増えれば上昇する。

川村(よ) 個人住民税の落ち込みの要因は。

税務課長 リーマンショックによる景気の後退により所得が0・5%落ち込んだことによる。

による財政効果

総務

小川 さわやか号の運行経路や運行方法の見直しはないか。

企画財政課長 今後、運行経路の見直しを含め検討していく。

田口 コミュニティ防犯灯設置事業や電気料補助などのバージョンアップを図っていくべきでは。

企画財政課長 今後補助率を含め検討していきたい。

産業・建設



見直し検討のさわやか号

廣田 本年産うるち米の概算払いが9000円割れで示されたがこの米価下落に伴う農業者の支援策は。

藤原(由) 町管理河川の中洲が多くなってきたいるが洪水対策に向けての除去計画は。

町長 米価の大幅下落はたいへん憂慮すべき事と認識しており、国の情報を確認し対策を講じていく。

道路都市課長 県管理河川は県の事業で進められているが、町管理河川は新川、逆堰等順次対策を進めていく。

福祉・環境

芦生 今後、特養施設に入居を希望する高齢者が増えると思われるが、待機者を解消するための取り組みは。

生きがい推進課長 平成23年後半に老人健康福祉施設の整備が予定されており、実態調査をふまえて国の動向も見極めて後期計画で検討していきたい。

米倉 矢巾斎苑の駐車場の整備、改善を図るべきではないか。

住民課長 後期計画に盛り込み検討していく。



拡幅が待たれる駐車場

佐々木 水辺の里の駐車場が狭く不便をきたしているが改善策は。

商工観光課長 全体的な土地利用を考え、検討していきたい。

適正な予算執行

教育・文化

佐々木 煙山児童館は定員を上回っており、さらに自由来館が多く大変混雑している。早めの対策が必要では。

住民課長 どのような方法がいいか、後期計画の中で検討していく。



煙山児童館

藤原(義) 徳丹城史跡から出土した木製カブトをいつでも誰でも見られるようにするべきでは。

教育長 貴重な文化財であり、保存方法等を含め検討していきたい。



木製カブト(レプリカ)

特別・水道

藤原(義) 農業集落排水で雨水が入り込み、トイレが使えなくなる箇所がある。早急に改善すべきではないか。

上下水道課長 処理方法を検討し改善していく。

審査報告

決算審査特別委員会

委員長 高橋 義忠

一般会計

収納率が99%超え

収納率が99%を超え前年度を上回ったことは、徴収に対する努力が結集したものと評価する。矢巾スマートインターチェンジは地域医療を支える医大附属病院へのアクセス対策や緊急搬送に対応上必要であり、国の方針決定が前提となるが準備は進められた。次年度から始まる畑作を含めた戸別所得補償制度を見極め、本町農業の実情に合った農業支援策を講じられるよう望む。国指定史跡徳丹城跡や藤沢狹森古墳等から、貴重な出土品が発掘されており、有効活用と併せて保存には万全を尽くさるたい。

特別・水道会計

有収率95.8%

国保事業は、今後より一層医療費の適正化対策、保険税の収納率向上など保険事業の推進等に努められたい。介護保険事業は、地域包括支援センターが設置され4年を経過し活動が定着してきている。巨費を投ずる駅周辺土地区画整理事業は、本町表玄関として、駅前広場や商業集積を含め市街地の活性化が進展するよう努められたい。水道事業については、施設管理の重要な指標である有収率95.8%と依然として高く、施設の有効的管理が図られている。

子育て・生活道路整備

煙山児童館の過密化を解消、子どもの医療費の助成を拡充および保育料の軽減にも努めるべきである。農業は厳しさを増しており、独自の支援策や後継者育成対策に力を入れるべきである。駅前開発に107億円余の巨費を投ずるのでなく、生活道路の改良・水害の被害防止対策をすべきであり反対する。

小川 文子

町職員の増員を

民生、衛生、農林水産、商工に関わる職員の削減は自主財源確保に支障をきたす。駅東西自由通路の維持管理費約1598万円をやめ、生活道路整備費に充当し、大形公共事業を縮小すべきである。生活困窮が原因で国民皆保険制度に加入できない町民を作らない。以上の点を指摘して一般会計の歳入歳出に反対する。

川村 よし子

反対

討論

特定健診受診率の向上

歳入158億9900万円余、歳出154億2400万円余であり、そのなかで徳田保育園移転用地取得、プレミアム商品券の発行、矢巾中学校移転等関連事業などが実施された。特定健康診査受診率は51.7%と前年比7.3%向上し、日本一健康なまちやばを目標し鋭意努めていることを評価し賛成する。

高橋 七郎

順調に進む駅周辺開発

駅西地区の整備事業は70%の進捗率となり、駅前地区の開発も始まる。ヘルスアップ事業は健康長寿日本一を目指し保健指導強化の施策が実施され効果が表れており評価する。水道事業については収納率向上にクレジットカードでの支払いを導入するなど効果が表れてきている。以上のことから歳入歳出決算に賛成する。

長谷川 和夫

賛成

21年度決算 歳出総額は154億円

会計名		歳入	歳出
一	般 会 計	94億 885万円	90億6,682万円
	国民健康保険事業特別会計	23億2,044万円	22億1,006万円
	老人保健特別会計	3,899万円	3,666万円
	介護保険事業特別会計	14億 800万円	13億3,937万円
	後期高齢者医療特別会計	1億4,227万円	1億3,902万円
	下水道事業特別会計	10億 375万円	9億6,655万円
	農業集落排水事業特別会計	3億1,416万円	2億9,718万円
	矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計	6億6,281万円	6億3,389万円
水道事業会計	収 益 的	5億8,939万円	5億2,154万円
	資 本 的	1,091万円	2億1,386万円
合	計	158億9,958万円	154億2,495万円

(各会計毎に四捨五入の関係で合計額は一致しません。)

認
定

一般会計…………… 賛成 15、反対 2
 国保会計…………… 賛成 15、反対 2
 老人会計…………… 賛成 16、反対 1
 介護会計…………… 賛成 15、反対 2
 後期高齢者会計… 賛成 15、反対 2
 下水道会計………… 賛成 15、反対 2
 集落排水会計…… 賛成 15、反対 2
 駅区画整理会計… 賛成 15、反対 2
 水道会計…………… 賛成 15、反対 2

本
会
議
採
決



議長に審査報告書を提出

平成 22年度

補正予算総額 4億 1,666万円

▽住宅リフォーム事業 100万円	▽河川改良事業 627万円	▽観光振興対策事業 597万円	▽いわて希望農業 担い手応援事業 795万円	▽浄化槽設置整備事業 165万円	▽道路新設改良事業 1037万円	▽子ども手当給付事業 1億9221万円	一 般 会 計 補 正 予 算
固定資産評価審査委員 小笠原孝夫さん (下赤林行政区)	教育委員 合田 武さん (高田2区行政区)	人権擁護委員 松館征雄さん (藤沢行政区)	人事案件 (次の3名の 再任に同意)				



ひろたみつお 議員
廣田 光男

1%を町民提案予算 調査研究を進める



活発なコミュニティ活動(館前行政区)

廣田 まちづくりへの参画意識向上を目的に町民から提案を募集し、町民税の1%を振り向けたらどうか。
また各団体に対する補助金を交付金化して交付金制度を創設しては。

町長 各種計画策定には検討委員会の構成員を公募により住民を選任するなど、住民の意見が

施策や予算に参画できる仕組みを設けているが「町民提案予算」については今後研究していく。団体に対する補助金については昭和55年のコミユニティ条例制定に基づき自主的、創造的なコミユニティ活動に補助しており、補助の方法については国の一括交付金制度などを参考に今後調査研究していきたい。

どうする西部地区開発

官民協働による産業振興

廣田 西部地区開発と文化財、史跡保存および観光開発について。

①活性化委員会が近年開かれていない理由は何か。また、町は西部地区の開発をどう進めるのか。
②一般文化財や埋蔵文化財について積極的に情報発信していくべきでは。
館山公園の伝法寺遺跡は一部史跡調査が行われ町有地として管理されているが今後どのように取り組んで行くのか。
③西部地区には温泉施設を中心に歴史、文化面でも多くの観光資源があるが観光振興を図るための具体的な施策は

町長

①西部地区活性化委員会は平成22年3月に新委員による会議を開催、観光振興事業や地区活性化に向け意見交換し今後委

員会を運営して行く。

西部地区開発は六次総後期計画の見直しと併せ官民協働による産業振興に努める。

②ホームページの開設やテレビ、新聞などマスキの活用も図っている。

館山遺跡については徳丹城遺跡の進捗状況や財政面を勘案し総合保存計

画の策定も視野に検討していきたい。

③盛岡広域観光支援事業の取り組みとして、自然食、温泉、祭りなどを活かし着地型旅行商品等の開発について準備を進めており、有識者や住民の意見等を参考にしながら実践に取り組んでいく。



館山公園の整備

児童虐待の予防対策

効果的な相談と支援

山崎 全国で児童虐待が増加しているが本町の状況と対策は。

- ①相談件数と相談を受けた場合の対応について。
- ②児童相談所で扱われた事例はあるか、児童の安全確認や一時保護等の扱いと手順を伺う。
- ③児童虐待の予防および早期発見に地方公共団体の責務等を定めているが、本町の取り組みは。
- ④国は毎年11月を児童虐待防止月間としているが、STOP！子ども虐待、ストップ！いじめのチラシ配布やシンポジウム等を開催すべきでは。

町長

- ①平成20年度は24件、21年度は29件を受付し、対応については関係機関等による受理会議を開催し、緊急の場合は児童相談所へ通告する。
- それ以外は子どもや保護者に最も効果的な相談援助活動を実施している。
- ②児童相談所での虐待受理件数は9件あり48時間以内に直接子どもや安全を確認するとされている。一時保護は、法律に基

づき緊急受理会議で必要と判断されると児童相談所へ送致となる。

- ③乳児家庭全戸訪問事業や地域子育て支援拠点事業を実施し、親の孤立感や不安感を緩和するなど支援に取り組んでいる。
- ④児童福祉機関等へチラシやポスターを配布し町広報誌に掲載する等、地域住民に周知を図り、地域ネットワークを強化し活動している。



やまがき 山崎 道夫 議員



元気に遊ぶ子どもたち(不動保育園)

教職員多忙化の解消

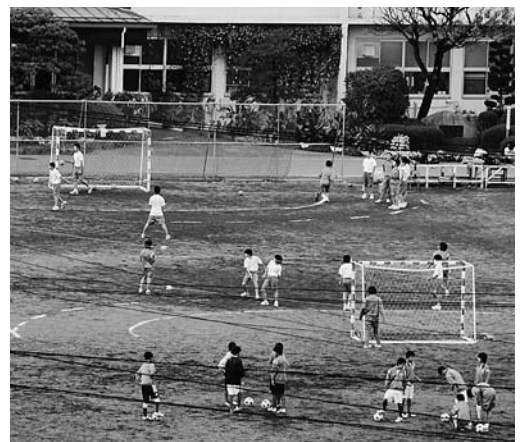
具体的取り組みを指示

山崎 県内教職員の休職者が増えており、約8割がうつ病等で学校現場の多忙化が大きな問題となっている。

- 解決にむけた対策について伺う。
- ①小中学校の教師の多忙化の原因は何か、解消の対策は。
- ②中学校のクラブ活動は第2・第4日曜日を休むよう県の校長会やPTA連合会等で申し合わせているが、守られていない原因と今後の対策は。
- ③教職員の健康を守るために労働安全衛生委員会の設置を実行されたい。

教育委員長

- ①教員の勤務実態調査によると、中学校教員は部活動の時間が多く、小学校教員は授業準備や成績処理が要因である。中学校の部活動のあり方を含め、学校として多忙化解消に取り組むよう指示している。
- ②大会が近い場合に第2・第4日曜日にクラブ活動を行う場合もあるが、別の日に休養を取り月2回の休みは守っている。
- ③労働安全衛生法による設置義務はないが、時間外勤務の調査結果を見ながら研究していく。



活発な部活動(矢巾中学校)



むらまつ てるお 議員
村松 輝夫 議員

家族介護の負担軽減 的確なサービスの提供

村松 家族介護の負担軽減を考慮する観点から介護施設としてグループホームがあるが満杯の状態であり、このような現状をどう受け止めるか。また認知症患者の家族介護および施設介護などについて今後の見通しと対策は。

町長 現在、入所困難や待機について特に相談はなく、グループホーム以外の施設や居宅介護サービス利用により、必要なケアやサービスが提供されているものと認識している。

また、家族介護について介護する側の健康面、精神面での負担軽減や認知症への理解と見守りが課題である。

地域包括支援センターを中核とした事業の普及活動の充実に取り組み、施設介護については入所定員の増加により対応できると考えており次期計画で検討していく。

くるまぜき 車堰用水路の改修計画

段階的に整備推進

村松 矢巾駅周辺地区土地区画整理事業による水路計画に関連し、車堰は地域にとって岩崎川について氾濫の恐れのある危険用水路となっており、改修計画を伺う。

町長 平成21年度基本設計により、後期計画を踏まえ来年度の実施設計のなかで検討し、町道大沼線の計画と整合を図り段階的に整備していく。



車堰用水路(矢巾1区内)

大沼線拡幅と橋の架け替え 岩崎川改修事業の中で対応



大沼線大沼橋

村松 大沼線拡幅工事と、岩崎川改修計画において廃橋となる西田橋、大沼橋および南田一号橋の架け替えの見通しは。

町長 矢巾駅前地区土地区画整理事業で築造される区画街路の整備時期、および現在事業中である岩崎川改修事業の進捗状況を考慮し、工事の時期を決めていく。

また、大沼橋および南田橋については県が今年度から行う暫定河道掘削、建物移転補償などの進捗状況と併せ今後の整備スケジュールが決まるものと考えている。

国保税滞納者への対策

窓口相談で分納・減免

川村 国保税について次の点について伺う。

- ① 社保から国保に切り替えが必要な世帯ほどの程度あるか。
- ② 年々短期被保険者証の発行が増えており、医療機関にかかりにくくなっているのでは。
- ③ 国保制度はどうあればよいと認識しているか。
- ④ 国保税の減免についてどのように周知し、利用されているか。
- ⑤ 一般会計繰り入れを増額し保険税の引き下げを行なうべきではないか。

町長

- ① 届出制度であり届出が無い場合は把握できない。
- ② 国保税の支払いが困難な場合、分納という方法もあり、医療機関にかかりにくいとは認識していない。
- ③ 医療保障を確保する制度であり、世界に誇れる制度と認識している。
- ④ 減免については、窓口や電話相談等で対応している。
- ⑤ 繰り入れ基準以外の繰り入れについては考えていない。



かわむら 川村 よし子 議員

サービス利用料の減免制度

パンフレットを送付し周知

川村 「保険あつて介護なし」とも言われる介護保険制度について次の点を伺う。

- ① 年金受給者世帯で老老介護世帯の数および、介護サービス利用料の減免制度の周知方法は。
- ② サービス利用料の助成をおこなうべきでは。
- ③ 住宅改修や施設・居宅介護サービスの償還払いは、受領委任払いにできないか。
- ④ 市町村介護保険事業計画の改訂にあたり、介護実態や問題点をどう解決していくか。また、国に改善要望を示すべきでは。

町長

- ① 老老介護世帯については把握していない。また、サービス利用料の減免についてはパンフレット等を送付し周知している。
- ② 「高額介護サービス費」の給付等、負担軽減制度もあり、助成は考えていない。
- ③ 償還払いにより適正に行なわれており受領委任払いは考えていない。



跡地利用は慎重に(矢巾中学校)

④ 二丁ズや施設等の意向など把握し計画していく。また、国に対する要望

は県等と連携し行なっていく。

跡地は多目的公園

各種意見参考に慎重検討

川村 矢巾中学校の跡地を多目的公園、教育・福祉施設、生涯学習ができる施設として考えはどうか。

また、町の考え方を提案し町民に対する公聴会を開催しては。

町長 現時点において具体的な利活用の方向性は定まっていないが、関係委員会の意見を参考にしながら慎重に検討していく。

公聴会については今のところ考えていない。



おがわ ぶんこ 議員

駅前開発に異議

最重要課題であり事業推進



矢幅駅前裏小路

小川 107億円余の駅前開発に反対の立場から次の点を伺う。
 ①国庫補助金が不透明ななか、基本協定を締結した理由は。
 ②107億円の債務返済計画は。
 ③町民の理解が得られず、5年で事業終了できない場合の町の負担額は。
 ④着工前に契約解除した場合の町の負担額は。
 ⑤5年後、10年後の人口、税収予測は。
 ⑥全町民対象の説明会を開催しては。

町長
 ①本年5月7日付けで社会資本整備総合交付金の決定通知があった事から、本協定締結に向けた準備を含め7月21日に締結した。
 ②107億円の債務返済計画については、施設整備費約84億円のうち交付金対象事業費64億円は22年度から6年間、残る町単独費18億円と維持管理事業に伴う経費および割賦金利の合計43億円は28年度からの19年間の割賦払いとなる。
 ③年度別事業計画に支障

が生じた場合は随時協議していく。
 ④町の責任による契約解除が発生した場合、その損害額の負担が発生する。

⑤人口は約3万人、税収はほぼ横ばいと想定する。
 ⑥過去数年間多くの協議を重ねており新たな説明会の開催は考えていない。

住宅リフォーム事業の改善

100万円の追加補正

小川 地域経済を活性化する事から本事業は好評と聞いているが、この情報の周知と改善点は。

町長 居住環境の向上、地域経済の活性化を目的に実施しており、現在までに外壁および屋根塗装工事6件、水洗化工事5件、その他改修1件の計12件の申請があり今議会に100万円の追加補正予算を計上した。
 今後も町広報誌、ホームページ等で情報の周知に努めていく。



リフォームされた水洗トイレ

第2回臨時会

駅前開発にGOサイン



動き出した駅前開発

矢幅駅前地区工事委託契約を可決

平成22年第2回臨時会が9月30日に開かれ、矢幅駅前地区整備等業務に係る工事委託契約について審議し、賛成15、反対2で原案どおり可決されました。

この契約は、現在事業を進めている矢幅駅前地区土地区画整理事業を含めた矢幅駅前地区整備等業務のうち、施設整備についての工事委託に関する契約の締結です。契約はNIPPORGグループが特別目的会社として設立した矢幅駅前開発株式会社との間で、施設整備費に41億9146万8255円、施設整備費に係る消費税および地方消費税に2億957万3412円、建物移転補償費等に40億853万1000円の合計額84億957万2667円の金額での契約となります。

反対討論

地権者だけでなく全町民に情報公開と説明会を行うべきである。

また高齢者・身障者に納得のいく説明が不十分であり反対する。

川村よし子

区画整理に購入した土地で道路・歩道・駐車場を整備し、画一的でないオンリーワンの町をつくるべきであり駅前区画整理事業に反対する。

小川文字

賛成討論

町の玄関口として都市基盤の整備、複合施設および交通体系の整備はもちろん、区画整理に伴う下水等環境整備は地域住民の悲願であることから賛成する。

村松輝夫

本町の表玄関として駅前整備と機能強化が多くの町民から強く望まれており、今後、大きく躍進するために魅力ある町づくりとして、計画どおりの施工が望まれる。

山崎道夫

永年の町政課題で地区周辺住民が自ら整備を望み、十分住民懇談会や住民説明会が開かれ住民の理解が得られていること、工事等委託契約額の妥当性については町議会全員協議会でも十分審議されていることから賛成する。

廣田光男

平成18年の事業認可と共に本件駅前開発事業は既に事業推進されているものであり、事業の継続は絶対のものである。本件は既に議会で議決された債務負担行為に基づき提案されたものであることから賛成する。

長谷川和男

みなさんからの請願

▽岩清水地区生活道路改良舗装工事に関する請願

▽私学教育を充実・発展させるための請願

▽過剰米対策に関する請願

▽北郡山堰の早期改良に関する請願

▽30人以下学級実現、教員賃金改善、義務教育国庫負担制度拡充を求める請願

岩清水行政区長

細川宣夫ほか

私学助成をすすめる岩手の会
会長 新妻二男

岩手中央農業協同組合
代表理事組合長 藤尾東泉

北郡山行政区・北郡山自治会長
細川隆造

岩手県教職員組合盛岡紫波支部
支部長 高野 泉

全員賛成

採択

全員賛成

採択

全員賛成

採択

全員賛成

採択

全員賛成

採択

審査意見

岩清水地区民は、コミュニティセンター等への往來のために大木田1号線は20数世帯が常に利用していることから、道路改良のうえ除雪等の配慮が必要と思われる。

また、町道柿木線は沿線上に一人暮らし老人も含め7〜8世帯あるうえに、一部幅員が2・2mと狭い現状であり、このことから日常生活はもちろん、緊急車両や除雪等の障害にもなっており早急な対応が必要である。

意見書

教育条件の維持、向上と保護者の経済的負担軽減を図るとともに、私立学校の経営の健全化に資するため運営費をはじめとする公費助成の一層の充実が求められています。よって、このような実情を勘案し、私学助成について特段の配慮をされるよう要望します。

意見書

稲作農家が安心して米作りに取り組める経営環境の確立が必要と思われることから、過剰米対策において、緊急政府買い入れの実施および22年産米以降の過剰米対策を早急に確立・実施するよう要望します。

審査意見

北郡山堰は、5本もの用水路等が流入しているほかに、河床部、川幅、堤防が不十分のため、近年のゲリラ豪雨により一瞬のうちに洪水に見舞われる状況になっている。このことから、岩崎川に分散して排水するなど抜本的な対策を講じることが急務である。

意見書

①OECD諸国並みの豊かな教育環境を整備するため、学級規模は30人以下とすること。
②教育職員の人材を確保するための給与改善を行うこと。当面、定数改善や超勤縮減策を行ったとしても残る超勤分に見合う給与措置を行うこと。
③教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国庫負担割合を2分の1に還元すること。

あ と が き

天高く馬肥ゆる秋、味覚の秋、芸術の秋等々、秋を表現する言葉は色々あるが、何と云っても「食欲の秋」がぴったりだなと感じるのは私だけではないと思う。

今年の夏は冷夏の予想を裏切り、毎日記録更新の猛暑、酷暑、激暑の連続であったが、弱った体力を回復させるため、秋の味覚を大いに堪能しエネルギーを十分蓄えて冬に備えていきたい。

収穫作業も終盤を迎えており、何としても「豊作の秋」で締めくくってほしいと願うものである。

編集委員
山崎 道夫

発行・編集責任者

議長 吉田 秀一

編集委員

委員長 芦生 健勝
副委員長 米倉 清志
委員 藤原 由巳
山崎 道夫
廣田 光男